

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	30-8																																						
PDCA	主要事業名	いじめ・不登校対策事業	部課名	教育部学校教育課	担当	渡辺																																						
					内線	520																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 46,256 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.01.03.02.52																																											
	事業概要等	いじめや不登校など児童生徒の問題行動に対して、学校でのカウンセリング等の機能充 事業概要： 実を図り、児童生徒の心の安定や自立を援助し、学校復帰等を促すための事業を実施する。																																										
		事業目的： 学校における相談支援体制の整備充実により、いじめ・不登校の防止を図る。																																										
		事業内容： 適応指導教室の設置運営、スクールカウンセラー・メンタルフレンドの派遣、心の教室相談員・スクールソーシャルワーカーの配置を行う。																																										
	問題点・課題等： いじめ・不登校児童生徒が抱える問題が多様化しており、様々なケースに対応することが必要である。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																										
	46,256 千円	児童生徒が安心して学校生活を送る必要があるため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費	児童生徒の学校における心の安定や自立、および不登校児童生徒の学校復帰に繋がる。																																										
	44,656 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童・生徒の学校復帰率</td> <td>実績値</td> <td>23.1</td> <td>19.6</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>15.6</td> <td>23.1</td> <td>23.1</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">いじめ事案のうち重大事態となった件数</td> <td>実績値</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	不登校児童・生徒の学校復帰率	実績値	23.1	19.6	—	%	目標値	15.6	23.1	23.1	%	いじめ事案のうち重大事態となった件数	実績値	0.0	0.0	—	件	目標値	0.0	0.0	0.0	件	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
不登校児童・生徒の学校復帰率	実績値	23.1	19.6	—	%																																							
	目標値	15.6	23.1	23.1	%																																							
いじめ事案のうち重大事態となった件数	実績値	0.0	0.0	—	件																																							
	目標値	0.0	0.0	0.0	件																																							
その他	実績値																																											
	目標値																																											
0 千円																																												
県費																																												
1,600 千円																																												
その他																																												
0 千円																																												
D 実績値	決算額	得られた成果																																										
	45,976 千円	不登校児童生徒の学校復帰率については、目標値を達成することはできなかったが、学校と教育相談員との連絡・連携を緊密に行ったこと等により、令和3年度の実績値（19.6%）から改善することができた。いじめについては、早期発見・早期対応に努めたこと等により、重大事態となることはなかった。																																										
	成果指標		令和4年度	単位																																								
	不登校児童生徒の学校復帰率	実績値	22.1	%																																								
		目標値	23.1	%																																								
いじめ事案のうち重大事態となった件数	実績値	0	件																																									
	目標値	0	件																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 教育相談員を増員するとともに、支援関係機関との連携・協力を緊密に行ったこと等により、支援を必要とする児童生徒の心の安定や課題の解決に資することができた。																																										
		<b>拡充推進</b> 相談支援体制のさらなる充実に取り組み、支援を必要とする児童生徒の早期発見・早期対応に努める。																																										
A 課題解決の方向性	観点別評価	必要性	有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない																																					
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地																																						
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																					
評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用																																												